

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 令和2年6月22日（月）

10：45～12：25

場 所 出雲市立東小学校

対象者 6年児童16名

指導者 教員1名

歴博職員

1 主題 古代人（縄文人）の生活を知ろう～土器作り体験～

2 ねらい

○土器作りの体験を通して、古代人の生活の様子について知り、古代人の生活への理解を深める。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
5分	今日の学習の流れを確認する	<ul style="list-style-type: none"> 講師の紹介をする。 学習の内容やねらいを説明する。 	担任
10分	縄文時代の人々の生活について知る <ul style="list-style-type: none"> 縄文時代が今からどれくらい前の時代かを年表で確認する。 どのような食器（土器）を使っていたのかを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 縄文土器の特徴や当時の生活の様子について教科書・資料集を用いて確認する。 	職員
60分	<ul style="list-style-type: none"> ★土器作りに挑戦しよう 粘土、粘土板、施文具の準備 各自で土器の形を作り、縄文などの文様をつけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の机上に粘土板を配置、粘土を配る。 土器の成型方法について説明する。 土器の施文方法について説明する。 土器が完成したら手を洗う。 ※粘土を自然乾燥させるための場所を考慮する。 	職員 担任
15分	弥生時代の貫頭衣を着て記念撮影を行う	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習において縄文人と弥生人の違いや共通点をおさえておく。 	職員 担任
10分	片づけをする		職員 担任

4 準備物

学校・児童 筆記用具、教科書、資料集、ノート

埋文センター 粘土、粘土板、土器などの遺物、学習の資料、アンケート用紙等